

ひんぱんに吐く

吐
く

生後3ヶ月未満の赤ちゃんで、母乳、ミルクのたびに勢いよくおう吐を繰り返す。

- 1 お腹がはついて、ぐったりしている。
- 2 がまんできないほどの、激しい腹痛を訴える。
- 3 血液(褐色、コーヒー残渣様)や胆汁(緑色または黄色の液体)を吐く。
- 4 元気もなく、活気もなく、無気力で吐く。
- 5 いつもと違う様子である。
- 6 げりが続いて、ぐったりしている。
- 7 おしっこが出ない。
- 8 くちびるが乾いて、ぐったりしている。
- 9 頭痛を訴えている。
- 10 ウトウトしていたり、ちょっとした刺激に過敏に反応する。



一次・二次救急医療機関
を受診してください(2~5ページ)

1つでも
「はい」
がある

1つも
「はい」
がない

時間とともに、具合が悪くなったら救急医療機関を受診してください。

翌日の朝など、かかりつけ医の先生に診てもらってください。(18ページ参照)



吐



観察のポイント

- 何回吐いたか、頭をぶつけていないか、腹痛や頭痛はあるか、機嫌はどうか、食欲はあるか、熱はあるか、下痢があるかを落ち着いてよく観察してください。
- 口タウイルスワクチン接種後に嘔吐するときは、腸重積に注意してください。



知って安心 Q&A

Q なぜ赤ちゃんはよく吐くのですか？

A 生後まもない赤ちゃんの胃は、胃の入口（噴門）の構造が未発達で、ちょっとした刺激でミルクを吐いてしまうことがあります。順調に体重が増えている場合は、多少吐いても発育への影響はありません。

Q スポーツドリンクと子供用イオン飲料はどこが違うのですか？

A イオン飲料は塩分と糖分が水に溶けたもので、水よりも早く水分・電解質（ナトリウム、カリウムなど）を体に吸収させます。スポーツドリンクは子供用イオン飲料よりも糖分が多く含まれているので、子供用イオン飲料を与えましょう。

家庭でできること

- 吐き気の強い時に飲食をするとかえって吐くので、2時間～3時間は飲食を控えてください。
- おう吐の間隔が長くなったら、湯ざまし、お茶、子供用イオン飲料を少しづつ飲ませてください。
- 胃腸を休めるために固形物は与えないでください。

ワンポイントアドバイス

- 授乳中なら、授乳継続してください。
- 吐いた物を気管に吸い込まないよう、寝ている時は体や顔を横に向けるなど注意してください。
- 吐いた物を始末したらよく手を洗いましょう。

Q 吐き気の治まった時の食事はどのようなものがよいのですか？

A 消化の良い「おかゆ」や「うどん」などの炭水化物を少量ずつ与えましょう。油の多いものや乳製品、ラーメンなどは避けてください。

